

『身近な自然の恵みを考えよう』

～薬と毒と生物多様性～

★ ★
会 日
場 時
 平成30年1月14日(日)
 ホテル白萩 3階 萩の間

(仙台市青葉区錦町2丁目2-19)

寒くなってきましたが、みなさんも風邪をひいたり、頭が痛かったりしたときは「薬」を服用することがあると思います。薬を服用すると、痛みが和らいだり、つらさが軽くなったりして助かりますよね。その「薬」には、たくさんの植物が使われていることをご存じですか？葉っぱを生薬とし、その成分を使用したりと、植物は大活躍しています。

でも、使い方次第で毒になることも…。私たちが普段お世話になっている「薬」と植物、自然との関係について、一緒に考えてみませんか？

開場 午後1時
 開会 午後1時30分

ハーブ
 ティーの試
 飲もあります

無料参加



講演 2

『私たちをとりまく
 生物多様性の恵み』
 中静 透 先生

(東北大学大学院 教授)

生物多様性に関する研究を専攻され、国際会議をはじめ、世界で活躍されている中静先生から、身近な自然から私たちが受け取れる「恵み」について講演いただきます。



講演 1

『薬用植物からの発想』
 草野 源次郎 先生
 (薬用植物普及協会みやぎ理事長)

日本薬用植物友の会名誉会長であり、薬剤師の資格を持っておられる草野先生から、身近に見ることが出来る薬用植物や毒をもつ植物の活用と危険性や、身近にあるハーブなどの自然の「恵み」について講演いただきます。

平成29年度 生物多様性フォーラム

『身近な自然の恵みを考えよう～薬と毒と生物多様性～』

プログラム

開会・あいさつ

(13:30)

講演 1

「薬用植物からの発想」
 草野 源次郎 先生 (薬用植物普及協会みやぎ 理事長)

休憩時間(ハーブティー試飲タイム【予定】)

講演 2

「私たちをとりまく生物多様性の恵み」
 中静 透 先生 (東北大学大学院生命科学研究科 教授)



閉会

(16:15)

会場・アクセス

【JR】
 仙台駅西口より
 徒歩15分、車で5分

【市営地下鉄南北線】
 勾当台公園駅より
 徒歩15分、車で5分

【仙台市営バス】
 仙台駅前17番のりば
 (宮町経由)乗車→花
 京院シルバーセンター
 前下車→徒歩3分



駐車場に限りがありますので、公共交通機関でお越し下さい。

お申込み・お問い合わせ

宮城県環境生活部
 自然保護課自然保護班
 〒980-8570
 仙台市青葉区
 本町三丁目8番1号

FAX 022-211-2693

TEL 022-211-2672

Mail sizens@pref.miyagi.lg.jp



※メール若しくはFAXでお申し込みの際は、お名前、ご連絡先(電話番号)(必須)及び会社・団体名、役職(任意)を記載願います。

締切

平成30年1月9日(火)

※定員100名に達し次第締め切らせていただきます。

FAXお申し込みフォーム

(複数の場合
 代表者名)

お名前

(複数名お申し込みの場合) 他 名

企業・団体名

部署

役職

ご連絡先

TEL

FAX

E-mail